

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和6年度		
施設名	秋田県立北欧の杜公園	設置年	平成 6 年
所在地	北秋田市上杉字中山沢128		
指定管理者	北欧の杜パークマネジメント共同企業体		
県所管課	都市計画	課	都市整備 チーム

1 施設の概要

設置目的	北欧の杜公園は県北地域の広域的な余暇活動及び交流の場を提供し、実践することを目的に設置され、北欧の景観を思わせる壮大で牧歌的な自然環境を活かした施設整備が行われている。					
県の施策上の施設の位置付け	<p>新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標</p> <p>新秋田元気創造プラン第5章/基本政策2「生活環境」/目指す姿3「安らげる生活基盤の創出」/施策の方向性③「安らぎと潤いのある空間づくり」において、「都市公園の整備」が位置付けられている。成果指標は県立都市公園の利用者数</p> <p>新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として施設に求められているもの</p> <p>より質の高い生活空間を確保するため、県民が四季を通じてゆとりと豊かさを実感できる空間の創出</p>					
施設の面積	200.7ha					
主な設置施設	パークセンター、パークゴルフ場、オートキャンプ場、テニスコート、わんぱく広場、イベント広場、アジリティ、なべっこ広場					
指定管理業務の内容	料金制	有（利用料金併用制）				
	料金設定	別添資料による				
	サウンディング実施対象施設※					
	指定期間	R3.4.1 ～ R8.3.31				
	営業期間・時間	9:00～17:00(12/29～1/3を除く)				
自主事業の内容	<p>①維持管理(施設管理、植物管理)</p> <p>②運営管理(利用受付、利用案内、広報広告、催事、運営協議会の設置等)</p> <p>③法令管理(財産管理、許認可、賠償責任等)</p> <p>講習会型イベント(クリスマスリース、ミニ門松、ナチュラルクラフト等)、地域交流型イベント(フローラルフェスタ、秋祭り、雪まつり、餅つき大会、芋ほり体験)、室内展示型イベント(クリスマスツリー、門松、七夕飾り)、自然観察会(年4回)、木育イベント、パークゴルフ大会、冬のアクティビティ(バナナボート、スノーボート)、そり山、冬キャンプ、ストライダーレース及び「県の記念日」の施設無料開放、大芝生広場でのキャンプフェス、冬のサウナ体験</p>					
直近3年の年間利用者数	R4	137,782 人	R5	122,762 人	R6	138,743 人
直近3年の年間利用収入	R4	14,660 千円	R5	15,090 千円	R6	16,099 千円
直近5年の収支決算(単位:千円)		R2	R3	R4	R5	R6
収入計		75,998	79,854	85,728	83,164	84,147
利用料金収入		8,781	13,184	14,660	15,090	16,099
指定管理料		66,356	66,450	66,450	66,450	66,450
その他収入		861	220	4,618	1,624	1,598
支出計		75,998	79,854	85,728	82,505	83,387
人件費		20,856	23,961	24,646	22,867	22,365
光熱水費		5,117	6,922	9,741	9,443	9,355
修繕費		1,713	1,464	1,507	1,468	2,486
外部委託費		6,040	7,021	7,010	7,348	7,436
その他経費		42,272	40,486	42,824	41,379	41,745
差引		0	0	0	659	760

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

<観点 I> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的（施設の目指す姿）を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定（毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標）

令和6年度の目標	利用者数 135,000人
----------	---------------

○指定管理者による実績報告

令和6年度の実績	実績	138,743人	達成率	102.8%
	具体的な取組とその効果	6月に供用開始した噴水広場により、公園の集客力が大きく向上した。また、これまで未活用であった大芝生広場では、キャンプフェスやノスタルジックカーフェスティバルを開催し、多くの来場者を集めた。また、県の施策である秋田冬アソビ割を活用した冬のアクティビティや、冬キャンプ、冬のサウナ体験なども実施し、年間を通してキャンプが楽しめる公園として利用者から高い評価を得た。パークゴルフ場では、8月から9月にかけて利用者を対象とした抽選会を実施し、利用者サービスの向上と利用者との親近感を高めることができた。		
直近3年の実績	年度	R3年度	R4年度	R5年度
	目標	166,000	167,000	149,000
	実績	112,180	133,782	122,762
	達成率	67.6%	80.1%	82.4%
令和7年度の目標（設定根拠）	目標	140,000人		
	設定根拠	令和7年度も、クマの出没が懸念され、屋外散策の利用減少が想定されるものの、噴水広場の利用者増加が見込まれるため、前年度の実績を考慮し、140,000人程度が適正な利用水準であると想定した。		

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

<観点 I> の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	令和6年度は、噴水が完成したことで、特に親子連れの利用者が大幅に増加した。また、大芝生広場では、キャンプフェスを開催し、多くの来場者で賑わった。さらに、地元である北秋田地域の関係者が実施するイベントに積極的に協力するなど、様々なサービス提供を通じて、幅広い層の県民に親しまれる施設として運用ができた。
	県（所管課）	A	6月に供用した噴水広場や、キャンプフェスなどの積極的な自主事業の実施により、利用者数が138,743人と目標の135,000人を上回ったことは評価できる。また、指定管理開始年度から利用者数の目標達成率が80%以上を継続しており、令和6年度は目標を達成しているためA評価とする。

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。
また、施設の設置目的（施設の目指す姿）を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成（数値目標の場合は100%以上）

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要（数値目標の場合は80%未満）

＜観点Ⅱ＞ 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和6年度 の実績	実績	89.3%		
	具体的な 取組と その効果	キャンプ場のWEB予約システムをオンライン決済のみとしたことで、キャッシュレス化が進み、利用者の利便性が向上した。また、自主事業として冬キャンプ場を開設したことにより、年間を通してキャンプ場の機能を提供できるようになり、利用者から好評を得た。さらに、親子向けのイベントとして「ててて遊びの学校」や「蹴ったバイクレース」などを開催し、子育て層へのサービス提供を実施した結果、こちらも好評を得た。アンケート結果では、施設に対する満足度が87.1%、スタッフなど運用に対する満足度が91.4%と、平均で89.3%の満足度であった。		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R3年度	83.6%	R4年度	93.0%
	R5年度			97.0%

＜観点Ⅱ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	
県 (所管課)	A		利用者のニーズに合わせた自主事業を展開するなど、きめ細かに対応しており、利用者満足度を80%以上で継続的に維持しており評価できる。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A:満足度80%以上 B:A及びC以外 C:満足度60%未満

＜観点Ⅲ＞ 効率性の向上等に関する取組

(1)経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	経費の 低減実績	全体では老朽化個所補修による修繕費が増加した。その他の経費は前年度並みであった。前年度に比べ支出全体としては882千円増加した。
	具体的な 取組と その効果	施設の老朽化に伴う修繕費が増加したものの、パークセンターの冷暖房システムが灯油ボイラー形式からエアコン式に更新されたことで、年間の灯油代が前年度よりも約450千円削減された。エアコン導入による電気代への影響は無かった。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2)収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	収入の 増加実績	前年度に比べて利用料収入が1,009千円(6.7%)増加した。積極的な自主事業による収入が増加につながった。
	具体的な 取組と その効果	①自主事業の活発化(フリーサイト、冬キャンプ場)による収入増 ②秋田冬アソビ割キャンペーンの活用で冬期間の収入増 ③夏の大芝生広場を活用したキャンプイベント開催による収入増

＜観点Ⅲ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	施設の更新による修繕費の増加は施設維持のため止むを得ない支出であったが、エアコン導入による電気代への影響がなかったのは良かった。自主事業を中心として様々な働きかけを行い収入増に結びついた。
	県(所管課)	B	経費で1%増加したが、施設利用収入で6.7%増加し改善されていることからB評価とする。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B: A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

＜観点Ⅳ＞ 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○人員配置 施設の管理運営に必要な人員を配置し、様々な業務に主体的に対応できるよう事務所内職員はマルチスタッフとして活動している。 ○職員の資質向上 火災を想定した自主避難訓練を実施している。また、グリーンスタッフを含め、救急救命講習を2～3年に1回実施している。グリーンスタッフの安全大会を年1回実施している。 ○地域や関係団体等との連携 中学生職場体験、スキー授業やボランティアの受け入れを行っている。 ○安全対策 維持管理、施設修繕及び設備点検等の年間作業計画を作成し、確実に点検等が行われるようにしている。また、巡回、施設点検パトロール等の結果から、修繕や使用制限などの迅速な対応をとり、安全・安心を提供している。 ○危機管理等 事故対応マニュアルやハザードマップを作成、緊急連絡網を整備している。緊急時に素早く対応できるよう、職員の目が届きやすい場所に掲示している。 ○地域課題の解決 人口減少、少子高齢化、観光促進の面で子育て層や高齢者が楽しめる企画やイベントを提供した。また、地元の団体とコラボし集客力のあるイベントを企画、広範囲で来園者が得られる事業を開催した。
--------------	--

＜観点Ⅳ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	令和6年度は新たに稼働した噴水の効果により施設への人の流れが変化した。また、季節ごとに様々なイベントを開催し、地元の企業や行政と連携を図ったことにより、当施設は県北地域において広く認識される様になった。当施設は、北秋田地域における県が抱える課題(人口減少、少子高齢化、観光促進)の解決の糸口となる役割を担っている。
	県(所管課)	A	モニタリングの結果及び運営協議会の開催状況等から、管理運営業務が適正に行われている。

【評価基準】 A: 順調(改善点なし)、B: 概ね順調(重大な問題点なし)、C: 改善が必要(重大な問題点あり)

県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)
<ul style="list-style-type: none">・健康運動、レクリエーションの場となり、心身の健康増進等に寄与している。・観光客の誘致等により地域の賑わいを創出、活性化に寄与している。・地域のコミュニティ活動の拠点、市民参画の場となりコミュニティ形成に寄与している。・子どもの健全な育成の場を提供し、子育て、教育に寄与している。
○施設運営の課題
<ul style="list-style-type: none">・施設の老朽化対策
○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)
<ul style="list-style-type: none">・秋田県公園施設長寿命化計画(R4～R13)に基づき、計画的に更新、修繕を実施・計画と施設の状況に乖離がないよう、定期的(5年毎)な計画の見直しを令和8年度に実施予定

秋田県立北欧の杜公園の公園施設等を使用する場合の利用料

1 施設利用料

区分			利用料金の額	
パークセンター	第1研修室	全区分	1時間につき 720円	
		2分の1区分	1時間につき 360円	
	第2研修室	1時間につき 960円		
オートキャンプ場	テントサイト	電源を使用する場合 定員6名	宿泊 全日	1区分1泊につき 4,900円
			2泊目以降(繁忙期を除く)	1区分1泊につき 2,500円
			定員を超える中学生以上	1区分1名1泊につき 200円
			定員を超える3歳以上	1区分1名1泊につき 100円
		日帰り	平日	1区分1回につき 1,500円
			土曜日・日曜日・休日	1区分1回につき 1,800円
			定員を超える中学生以上	1区分1名1回につき 200円
			定員を超える3歳以上	1区分1名1回につき 100円
	電源を使用しない場合 定員6名	宿泊	全日	1区分1泊につき 4,400円
			2泊目以降(繁忙期を除く)	1区分1泊につき 2,200円
			定員を超える中学生以上	1区分1名1泊につき 200円
			定員を超える3歳以上	1区分1名1泊につき 100円
		日帰り	平日	1区分1回につき 1,200円
			土曜日・日曜日・休日	1区分1回につき 1,500円
キャンピングカーサイト	宿泊	1区分1泊につき 7,100円		
	日帰り	1区分1回につき 2,400円		
トレーラーハウス	タンゴ	宿泊 定員5名	1台1泊につき 14,300円	
	アバーソ	宿泊 定員4名	1台1泊につき 12,600円	
テニスコート			1面1時間につき 250円	
パークゴルフ場	中学生以上		1人1日につき 500円	
	3歳以上		1人1日につき 250円	
	中学生以上回数券(11回券)		4,300円	
	3歳以上回数券(6回券)		1,250円	

備考

- 1 使用時間を単位とする使用については、使用時間がその使用について定められた使用時間の単位となる時間(以下備考1及び3の表の備考1において「単位使用時間」という。)に満たないとき又は使用時間に単位使用時間未満の端数があるときは、当該使用時間又は当該端数を単位使用時間とする。
- 2 この表において「宿泊」とは、午後1時から翌午前11時までをいい、「日帰り」とは、午前10時から午後4時までをいう。ただし、トレーラーハウスにおける「宿泊」は、午後1時から翌午前10時までをいう。
- 3 この表において「休日」とは、国民の祝日に関する法律第3条に規定する休日をいう。
- 4 この表において「繁忙期」とは、4月20日から5月11日のゴールデンウィーク期間、8月8日から同月20日のお盆期間、9月13日から同月27日のシルバーウィーク期間の各期間の内、毎年度、指定管理者が定める。

2 附属施設・設備利用料

区分		利用料金の額
オートキャンプ場	シャワー	1回につき 100円
	洗濯機	1回につき 200円
	乾燥機	1回につき 200円
休憩所	シャワー	1回につき 100円

3 器具利用料

区分		利用料金の額
自転車	中学生以上	1台2時間につき 200円
	3歳以上	1台2時間につき 100円

拡声装置	1式1時間につき	360円
テニスラケット	1本1回につき	250円
その他の器具	1品目1単位1回につき	110円

備考

- 1 使用時間を単位とする使用については、使用時間が単位使用時間に満たないとき又は使用時間に単位使用時間未満の端数があるときは、当該使用時間又は当該端数を単位使用時間とする。